

# 水性反応硬化形エマルション塗料

# ニッペ 水性ケンエースグロス<sup>®</sup>

多機能タイプの環境配慮形水性つや有り塗料。  
内装・外装の各部位に塗装可能です。

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

ホルムアルデヒド  
放 散 等 級

F☆☆☆☆

## ■特長

### ①優れた付着性

反応硬化形なので、各種旧塗膜への付着性に優れ、改修時にはシーラーレスでの塗装が可能です。(※)  
また、優れた耐久性・耐水性を発揮します。

(※)壁面での健全な塗膜を想定しています。

条件によっては下地処理や下塗りが必要な場合があります。  
裏面の施工上の要点と注意事項をご参照ください。

### ②優れた仕上がり

隠ぺい性に優れ、作業性・仕上がりの両面を兼ね備えた高級品です。

### ③環境配慮形

低VOC塗料(TVOC1%以下)ですので、室内環境に配慮した水性塗料です。  
また、臭気も少なく、安全にお使いいただけます。

### ④やに止め性

やに止め効果があるため、軽微なやにであれば抑制できます。  
※裏面の「やに止めレベルの目安」をご参照ください。

### ⑤透湿性

塗膜には透湿性がありますので、膨れや剥離を抑制します。

### ⑥防藻・防かび性

藻やかびの発生を防止する効果があり、美観維持に役立ちます。  
強力防かびタイプ、抗菌タイプもオプション付与が可能です。

### ⑦現場で、つや調整可能

水性ケンエースグロスと水性ケンエースを混合し、お好みのつやに調整できます。

JIS K 5660

つや有り  
エマルションペイント

つや有り

JIS K 5663 1種  
合成樹脂  
エマルションペイント

7分つや有り  
5分つや有り  
3分つや有り

本製品には当社工場にて製造もしくは調色したJIS表示品と、店頭にて調色していただく為のJIS非表示品があります。  
JIS表示品が必要な場合は注文時にその旨をご指示ください。

## ■用途

戸建住宅・マンション・商業施設など  
臭気配慮が必要な内・外壁面の新設・改修塗装  
内部および準外部の鉄部改修塗装

## ■適用下地

新設適用下地:コンクリート・モルタル・石膏ボード・スレート板・  
けい酸カルシウム板などの各種素材

改修適用下地:上記各種素材面および鉄面の各種旧塗膜

## ■標準塗装仕様

### ●改修塗装仕様(内・外壁面)

・やにの付着が認められる場合は、裏面の「やに止めレベルの目安」をご参照ください。

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。粉化物、ほこり、よごれを除去し、乾燥した清浄な面とする。						
上塗り	ニッペ 水性ケンエースグロス	2	0.13~0.15	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレスプレー

### ●新設塗装仕様(内・外壁面)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9以下)						
下塗り	水性カチオンシーラー (ホワイト・透明)	1	0.10~0.16 0.12~0.16	4時間以上	水道水	ホワイト 0~10 透明 無希釈	はけ、ウールローラー エアレスプレー
上塗り	ニッペ 水性ケンエースグロス	2	0.13~0.15	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレスプレー

### ●鉄部改修塗装仕様(内・準外部)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤーブラシ、ケレン棒、電動工具などで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	水性ハイポンプライマー	1	0.13~0.16	4時間以上 7日以内	水道水	0~5	はけ ウールローラー
上塗り	ニッペ 水性ケンエースグロス	2	0.13~0.15	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレスプレー

★上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

★塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

# ニッペ 水性ケンエースグロス

## 塗装基準

塗装方法	はけ・ウールローラー・エアレスプレー塗り
希釈率	0~10%
使用量	0.13~0.15kg/m <sup>2</sup> /回
1缶あたりの塗装面積	53~61m <sup>2</sup> /2回/16kg 13~15m <sup>2</sup> /2回/4kg

- つや有りの塗付け量は、0.12kg/m<sup>2</sup>/回です。
- 5分つや有り、3分つや有りの塗付け量は、0.10kg/m<sup>2</sup>/回です。
- 使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前の）の使用質量
- 塗付け量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前の）の付着質量
- つや調整品では、タッチアップ塗装の際、施工方法によりむらを生じることがありますので、希釈率を増やすと塗付け量を少なめに塗装を行ってください。

## 塗り重ね乾燥時間

	5~10°C	23°C	30°C
塗り重ね乾燥	8時間以上	4時間以上	3時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 容量・荷姿

塗料名	系統	容量	色相	つや
ニッペ 水性ケンエースグロス	水性反応硬化形 エマルション塗料	16kg 4kg	各色	つや有り 7分つや有り 5分つや有り 3分つや有り

## やに止めレベルの目安

水性塗料のため、あらゆる条件でやにが止められる訳ではありません。以下の色相を目安に注意して施工してください。

ニッペ水性ケンエースグロスで止まるやには左の色相が目安です。ただし、施工条件(温度、下地の状態)などにより止まらない場合がありますので予めご了承願います。左の色相見本より著しいやにが付着している場合は、水性シミ止めシーラーⅡを塗装するか、しっかり水拭きをしてやにを除去から施工してください。  
(25~90D)  
日本塗料工業会 色相見本

## 施工上の要点と注意事項(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- (1) 喷熱やすい材(軽量モルタル、ALC、窓枠サイディング、発泡レムテル等)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弹性リソ、弹性性マター、アクリルバインなどの際に除去していくと、下地処理で塗装するときに剥離が発生することがあります。そのまま塗装すると膨れが大きくなる可能性がありますので、完全に除去してください。また、高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など製品の条件を満たすことで、建材の表面、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違うて見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- (2) つや調整品では、はけ・ウールローラーの塗装はむづが出やすくなりますので、スプレー塗装をおおすすめします。
- (3) つや調整品では、はけ・ウールローラーの塗装は、はけ・ウールローラーの面、切って通して塗装してください。
- (4) 過剰希釈すると本物のつやは現れないことがありますので、規定の希釈量をもってください。
- (5) つや調整品は被塗装表面の、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違うて見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- (6) つや調整品では、はけ・ウールローラーの塗装はむづが出やすくなりますので、適宜かんしながらご使用ください。
- (7) 調色対応について、強力防かび性能、抗菌効果の有無と付与が可能です。
- (8) 防藻・防かび・抗菌効果は、繁殖を抑制して除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- (9) 絶えず調湿が発生するような場所での使用は避けください。新しい結果が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。新しい結果が予想される場合は、塗装は避け、あるいは調湿や溶剤系塗料への塗装をおすすめ致します。
- (10) 塗装後、乾燥する一定な状態で降雨や露霧などのある場合や、低温・高湿、通風、天端などに風が吹く場所の場合には、はげれ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けたり、やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は、乾燥後水拭して除去してください。
- (11) 色相によっては降雨、結露によって色ぬれになる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- (12) 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シーフォード洗いで拭き、せっけん水で洗浄してください。
- (13) スプレースルの先端は、ときどき洗いでキレイにしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
- (14) 幹燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますので、時間とともにになります。
- (15) 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーケンまで洗浄してください。
- (16) 動物はけは、はけかけ固まったダマになりやすいので、できるだけローラーはけをかけてください。
- (17) JIS K 5663-1種(主として屋外用)の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁では、外壁専用塗料をご推奨いたします。
- (18) 本品は必ず2回塗りをしてください。1回塗りと2回塗りでは仕上がり感が異なります。
- (19) 繊維、樹脂、火薬などの揮発性物質は、はげれ、はく離、剥離等の非常なせわ弱い素材には塗装できません。
- (20) 水点下で貯蔵するごとに凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
- (21) 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などを必ず除いてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- (22) 既存塗膜のはく離は、既存塗膜の塗装仕様でパッターウォッシュを行ってください。
- (23) 風化面・吸込みの著しい下地ではニッペケンエースグロス(新)・ニッペ・液浸透シーラー・ニッペ・ファイン浸透シーラーをご使用ください。
- (24) シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- (25) やにが著しく付着している場合(ウエスなど)にやにを水拭して除去し、被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくして、1回目の塗装を十分に乾燥させてから塗装することによって、やに止め性が向上します。シミ、あく面は止まらない。2回目の塗装を十分に乾燥させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。
- (26) 下地にタコのやにが付いている場合は、下地に水で洗して水性シミ止めシーラーⅡで塗装してください。
- (27) 素地表面のアルカリ度はPH以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製K-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製K-500リース:コントローラーで測定した場合)の条件で塗装してください。
- (28) 表面のごみ、ほこり、オフロッセンス、レイタスなどは除去除し、目違い、ジャンカ、コードロジメントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- (29) ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材チオブリーラー・ニッペブリーラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンペイントの使用は避けください。)

## 安全衛生上の注意事項

### ニッペ水性ケンエースグロス 白

- (1) 本來の用途以外に使用しないでください。
- (2) 取扱い後は、手洗いやうがいを十分に行なってください。
- (3) 保護手袋／保護眼鏡／保護鏡面を着用してください。
- (4) 口をすすいでください。
- (5) 容器からこぼれた時に、砂などを散布した後処理してください。
- (6) 吸入した場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- (7) 吸入した場合: 空咳などの新鮮な場所で静かに呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- (8) 眼に入った場合: 水を数分間注入して落とす。次に、コントクトレンズを着用して容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄してください。
- (9) 眼の刺激が続いた場合: 医師の診断／手当を受けさせてください。
- (10) 施設して保管してください。
- (11) 直射日光や水滴は厳禁です。
- (12) 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。



## 塗膜性能

つや有りはJIS K 5660、つや有成樹脂エマルジョンペイントの規格に合格しています。  
つや調整品はJIS K 5663 1種、成樹脂エマルジョンペイントの規格に合格しています。

試験項目	規格	試験結果	
		つや有り	JIS K 5660
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする	合格	合格
塗装作業性	2回塗りで、はけ直し塗装作業に支障がはってはならない	合格	合格
底安定性(-5°C)	変質しないものとする	合格	合格
表面乾燥性	常温乾燥2時間以内に表面乾燥する(23°C、50%) 低温乾燥4時間以内に表面乾燥する(5°C)	合格	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格	合格
順べい率%	93%以上 (白および黒) 95%以上	98 —	98 —
鏡面光沢度(60°C)	70以上	—	80
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする 96時間浸したとき、光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないものとする	合格	合格
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする 7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がないものとする	—	合格
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする 1000回の洗浄に耐えるものとする	合格	—
耐熱耐候性	光沢保持率が80%以上で、潤滑冷熱繰り返しに耐えるものとする 40度熱湯で1時間以上で、色の変化の程度が見本品に対して大きくないものとする	—	合格
促進耐候性	白土の着色は、はげれがよく剥げない、色の変化の程度が見本品に対して大きくないものとする	—	合格
屋外暴露	12か月間の暴露したとき、はげれがよく剥げない、色の変化の程度が見本品に対して大きくないものとする 12か月間の暴露したとき、はげれがよく剥げない、色の変化の程度が見本品に対して大きくないものとする	合格	—
耐候性	—	—	—

## 水性ケンエースとの混合によるつや調整例

水性ケンエースグロス:水性ケンエース(重量比)	7分つや有り	5分つや有り	3分つや有り
90:10	80:20	60:40	

- (30) 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りをシーラーを塗装してください。
- (31) 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- (32) 漆装直後から頻繁に手が触れるような部材や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護ブリーフなどでの保護防止を行ってください。
- (33) 塗装直後から頻繁に手が触れるような部材や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。
- (34) 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- (35) 塗装時および塗装後は、密閉しておかれると乾燥が進みます。換気を十分に行ってください。
- (36) 塗装時および塗装後は、常に換気を行い、火気厳禁にしてください。
- (37) 飛散防止のため必ず蓋を開けてください。
- (38) シリック面への塗装は、塗膜の汚染、はげれ、剥離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行なう場合は、シリック面が完全に硬化した後に行なうものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリーフオブライマーを下すことをすると、可塑性移行による汚染が発生しますが、シリック材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起ることがあります。
- (39) 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- (40) 滝下しきは陰へ力を不足し、仕上がり不良が起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- (41) 上塗りに冴えたイエロー、ブルー、グリーン系色相を用いる場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- (42) 調色によっては必ず当社専用の色をお使いください。
- (43) 遊彩色や色をえた原色の場合、塗膜の汚染、はげれ、剥離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。衣類などを接触する可能のある部位には使用しないでください。なお、状況により常に接触する可能性のある部位には、シリック面が完全に硬化した後に行なうものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリーフオブライマーを下すことをすると、可塑性移行による汚染が発生しますが、シリック材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起ることがあります。
- (44) 滝下しきは陰へ力を不足し、仕上がり不良が起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- (45) 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件と一緒にしてください。
- (46) はげれなどは必ず当社専用の色をお使いください。希釈を少なくて塗装してください。
- (47) 調色によっては必ず当社専用の色をお使いください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- (48) 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りでできる限り入り隅まで入れてください。
- (49) 汚れ、さすりなどにより剥離・割れが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、剥離の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件と一緒にしてください。
- (50) ローラーはげれなどは必ず当社専用の色をお使いください。はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- (51) 可塑剤や多く含まれる銀色ペルビドール銀、塗ビラスター、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塗ビクロスなどへの塗装はお避けください。また、これらの部材に塗装直後で剥離が起こるおそれがあります。
- (52) 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や地状の状態によって、吸込みや巣穴によるピボーホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要となる場合があります。
- (53) 塗料は必ず均一にするようによくかきはしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機でかきはしてください。
- (54) 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は、密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- (55) 大気中の浮遊鉛粉が多い地域では、鉛の沈殿面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- (56) 過度に水を含むと溶け出しますので、保管・運搬時に容器を横倒ししないでください。
- (57) 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 横倒禁止

- (13) 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50°C以上(スプレー缶の場合は40°C以上)の温度にはば露しないでください。
- (14) 容器ははり上げないでください。やむを得ずつり上げるときは、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重にならないよう取ってがれ、落下事故の危険があります。)
- (15) 内容物を、容器を国・地方の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- (16) 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

\*上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。

□詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

□本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

## 危険有害性情報

### 強い眼刺激

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

●Copyright 2019 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.

●日本ペイントホームページ http://www.nipponpaint.co.jp/

カタログNo.  
NP-X008

TY190405T  
2019年4月現在

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608  
東北支店 ☎022-232-6712 中国支店 ☎082-281-2180  
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346  
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861  
中部支店 ☎052-461-1960